

園名	あそか保育園
日時	令和7年 1月

## 1, 活動テーマ

<テーマ>

0歳児・・・ミルク缶やダンボール太鼓を自由に叩くことを楽しむ。

<テーマ設定理由>

4月から遊んでいる「身近なものを叩いてみる、鳴らしてみる」という遊びから、自由に音を鳴らして楽しんでみた。

## 2, 活動スケジュール

①段ボールの太鼓、ミルク缶太鼓、小さい木琴を用意し、保育室において置く。叩くバチも用意する。

②太鼓や楽器を見つけて興味を持ち触ったり叩いてみる。

## 3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

ミルク缶太鼓、段ボール太鼓、木琴（卓上）、バチ4本

## 4, 探究活動の実践

<活動内容>

今回は4月から馴染みがあり遊んでいる「段ボール太鼓」や「ミルク缶」を使って音遊びを楽しんだ。今回は新しいアイテムとして木琴と太鼓のバチを用意する。いつもは手で叩いているのだがやはり音の響きや音量などバチを使うことでよく聞こえてくるようで手を使って叩こうとすることが殆どなかった。木琴なども喜んで音を出すことを楽しんだ。

①バチを見つけると早速手に持ちミルク缶を叩いて音を楽しんでいる。大きな音が鳴ることが嬉しいようで、長時間嬉しそうに叩いている様子が見られた。また「大きな太鼓」の歌を自分で歌いながら叩いている姿も見られた。



②段ボール太鼓は初めは手のひらを使って叩くことを楽しんでいましたが、バチで叩くことで音が響くことに気が付いたからか力強くトントンと叩き出して喜んでいる。



③木琴は他の楽器と違い、叩くと音色（良い音）を奏でておりとても真剣な表情でバチを持って叩く姿が見られた。10分以上集中して音を鳴らしている様子が見られた。



## 5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

今回は4月から慣れ親しんで遊び続けてきた「段ボール太鼓」やミルク缶、木琴などを使って音を鳴らすことを楽しんだ。新しいアイテムとして「バチ」を用意してみると、（大人の使い方を見ていたようで）どの子もバチを両手に持ち、嬉しそうに叩いている姿が印象に残った。保育士はバチが隣の子に当たらないよう見守る程度であったが、危険なく自由に楽しみながら、思い切り叩いていた。時折「大きな太鼓」のフレーズを口ずさみ長時間くりかえし遊びを楽しむ姿が見られた。